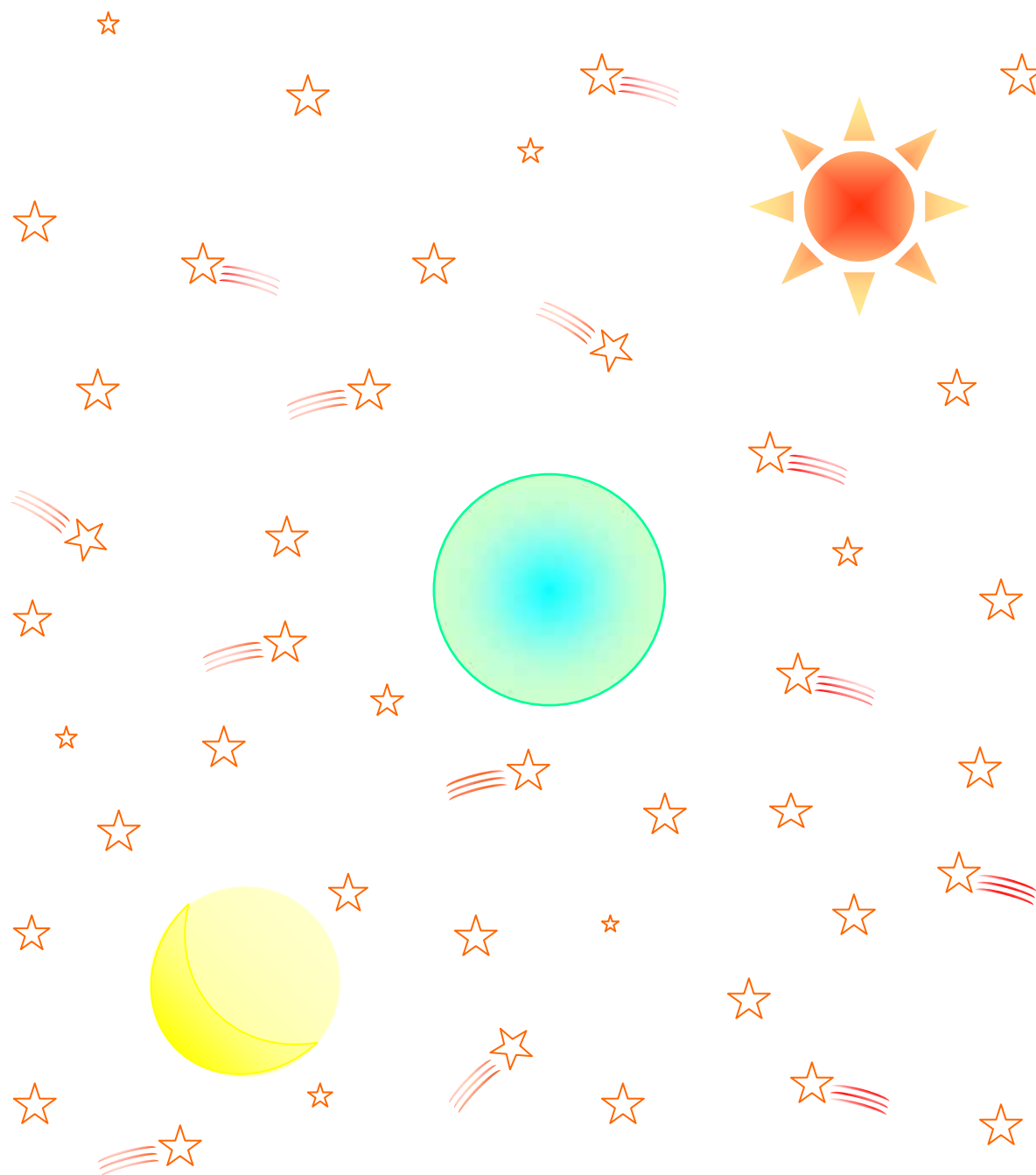


平成19年度 中学生のための景観教室 実施報告書



実施協力校：宮崎市立久峰中学校
宮崎市都市整備部都市景観課

はじめに

宮崎市では、平成2年4月に宮崎市都市景観条例を施行し、「豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき」を景観形成の基本理念として、緑豊かな自然と文化に育まれた、宮崎らしい、美しく魅力あるまちづくりを推進しています。また、平成17年度より、まちづくりに関する重点政策として「美しい自然と情景にまつまれた九州一の景観都市」づくりを掲げ、これまで以上に、積極的に景観行政に取組み、様々な施策を実施しております。

「景観」とは、海、山、川などの自然環境や建築物、道路など目に映るまちの姿だけではなく、まちの雰囲気や文化的・歴史的ななかりなど私たちがそこから感じ取る印象までも含めた幅広いものです。つまり、私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すものといえます。

私たちの住む宮崎市には、緑豊かな山々や美しい海岸線、^{とうとう}滔々（水が広くみなぎり、勢いよく、盛んに流れて行くさま）と流れる大淀川などの恵まれた自然が多く残されています。それらを活かしながら、文化の香り豊かな快適な市民生活が営めるように、自然環境と都市空間をバランスよく配置し、市民が共有できる良好な景観を有するまちを創っていく必要があります。

美しい景観は自然に生まれるものではなく、市民や事業者、そして行政の日頃からの意識と努力の積み重ねによって作りあげられていくものであり、市民一人ひとりの「景観」に対する関心や意識の向上を図ることが必要です。なかでも、将来の景観づくりの担い手である子供たちに対する景観教育は大変重要なものとなります。

このため、本市では、平成14年度から景観に対する関心を高め、また、景観づくりへの意識の向上を図るため、「中学生のための景観教室」を先生方と協力しながら実施しています。

目 次

第1章 景観教室の概要	・・・	P 1
第2章 景観教室の進め方 STAGE 1 (1時間目)	・・・	P 3
第3章 まちづくりに関する学習 STAGE 2 (2 ~ 7時間目)	・・・	P 6
第4章 まちなみ観察・調査研究 STAGE 3 (8 ~ 13時間目)	・・・	P 11
第5章 まちなみ模型づくり STAGE 4 (14 ~ 24時間目)	・・・	P 20
第6章 景観教室の学習を振り返って STAGE 5 (25時間目)	・・・	P 25

第1章 景観教室の概要

1 実施目的

「景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果として創り出されるものであり、良好な景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する知識や認識を深めることが重要です。

市では、このような市民の意識を醸成すべく、道路や河川などに地域の方々と協働して花を植えたり、また、景観シンポジウムや講演会といった各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めています。

景観教室は、「景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の景観形成の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図るものです。

2 実施期間

平成19年5月 ~ 平成20年2月

3 実施協力校

宮崎市立久峰中学校（真木 博校長）

4 実施科目

2年社会科選択（担当：太田 貴子教諭）

生徒21名

5 実施項目

STAGE 1 景観教室の進め方（オリエンテーション）

景観教室の内容、スケジュール等の説明

STAGE 2 まちづくりに関する学習

景観からのまちづくりについて

STAGE 3 まちなみ観察・調査研究

夏休みの自主研究、調査研究内容の発表

STAGE 4 まちなみ模型づくり

各班でテーマを決めて、まちなみ模型作成

STAGE 5 景観教室の学習を振り返って

6 実施概要

時間別実施状況

1 時間目

オリエンテーション
景観教室の進め方、スケジュール等説明
景観教室についての質疑応答など

2 時間目
～
7 時間目

景観とまちづくりについて
景観からのまちづくりについて
景観形成の手法について(国内外の写真で説明)
都市景観課課長の話
他己紹介
現状認識ゲーム

8 時間目
～
1 3 時間目

事前学習
まちなみ観察・調査
修学旅行や夏休みを使い気になった風景やまちなみを写真に撮り、撮影場所や感想をレポートにまとめることにしました。
まちなみ観察・調査のまとめ・発表
各自が撮影した写真を利用して、まちなみ観察の調査結果をまとめ、各班で発表を行いました。

1 4 時間目
～
2 4 時間目

模型づくり
各班でテーマを決めて、まちなみの模型を制作。
土台づくり(道路、土地の区画割り)
建物その他施設の制作
4つの班の模型について、特徴などの発表を行いました。
各班の模型を繋ぎ合わせ建物の並び替え等を行いまちなみを整えました。

2 5 時間目

景観教室を振り返って
景観教室の感想を書いてもらいました。

第2章 景観教室の進め方（STAGE 1）

1 時間目 - 景観教室について（オリエンテーション） -

景観教室で学習する内容や実施スケジュール等について、実施要項を基に説明を行いました。また、景観教室について疑問に思うことなどを出してもらいました。



オリエンテーション

- ・「景観教室」の進め方、スケジュール等について



まちづくりに関する学習

- ・景観からのまちづくりについて
- ・まちなみ観察の視点、調査目的



夏休みの課題（まちなみ観察・調査）

- ・生徒一人につき1個レンズ付きフィルムを配付します。
- ・修学旅行先（京都、大阪、奈良）や学校、自宅周辺のほか、夏休み中の旅行先などで、気に入った風景やまちなみなどを写真に撮り、撮影場所、感想などをメモしておきます。



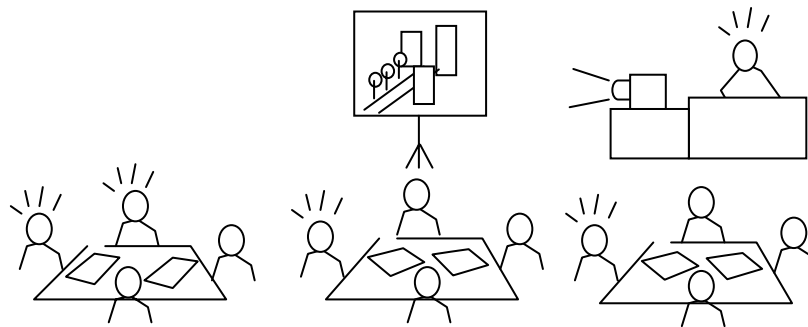
まちなみ観察・調査のまとめ

- ・ 修学旅行時や夏休みに撮った、気に入った風景やまちなみなどの写真を各グループで整理し発表用のレポートをまとめる。



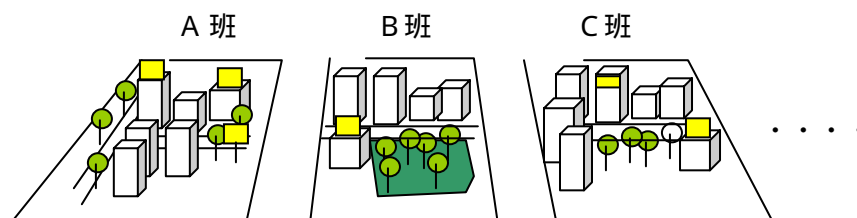
まちなみ観察・調査の発表

- ・ 各グループでまとめた、まちなみの調査結果を発表



実習コーナー（模型づくり）

- ・ テーマに沿って、調査した景観事例をもとに、景観要素と考えられるパーツを作り、各班がまちなみの模型をつくります。
- ・ 個別パーツによりどのように変化するか学習します。
- ・ 各班の模型を繋ぎ合わせ、まちなみを認識させるようにします。



景観教室のまとめ

- ・景観教室のまとめを行います（調査、実習内容のまとめ）。
- ・実施報告書（小冊子）に載せる各人の感想その他の内容を検討します。

模型づくりを終えた時点で、まちづくりについてもっと詳しく勉強したい事項や疑問などがある場合には、特別（追加）授業を行います。

（例）緑のまちづくりについて・・・など

景観教室の実施内容については、

- ・小冊子にまとめ、参加生徒に配付します。
- ・今後の学校教育との連携を図るため、市内の各中学校に配布します。
- ・その他、景観形成に関する各種団体（国土交通省など）にも配布します。
- ・実施内容を、市のホームページに掲載します。

第3章 まちづくりに関する学習（STAGE 2）

2～7 時間目

- 景観からのまちづくり -

景観とは？

視覚として捉えられる

建築物や木々の緑などの都市の風景

都市の風景をとりまく自然環境

市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、^{しんしょう}心象風景



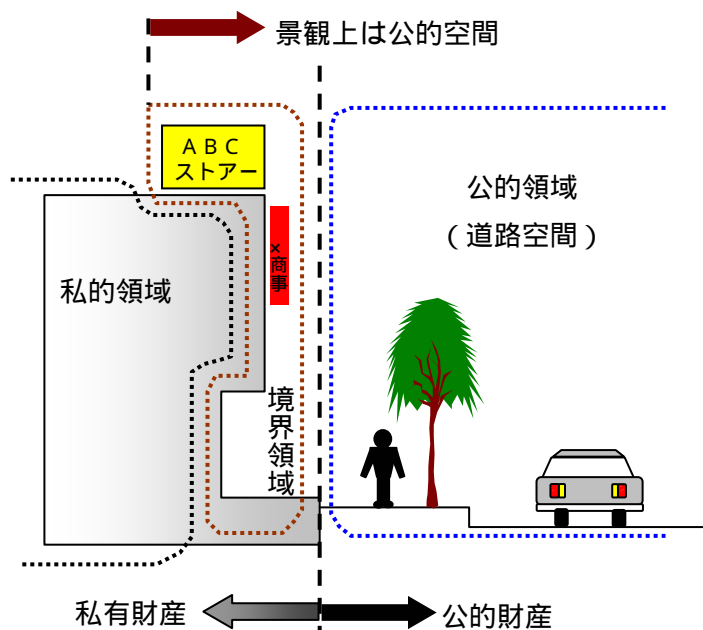
Check 見える環境であり、生活環境そのものです。

物、人、場所の相互関係により成立するもので、これらをどのように調和させ、秩序を保ち、融合させていくかが課題となっています。

景観形成から見た都市の空間

景観形成の観点から、都市の空間を考えてみたとき、重要なポイントとして以下の三つの空間構成の概念が必要とされています。

- ・ 公的領域：道路空間に代表される公共の空間 = 公的財産
- ・ 私的領域：個人や会社等の民間が所有する土地建物等 = 私的財産
- ・ 境界領域：私的領域に属するが、公共の空間に面していることから、言わば半公共的な空間として位置づけられ、良好な景観の形成を図るうえで、この境界領域をいかに誘導するかが課題となります。



Check 景観形成からの都市空間の概念図

なぜ、景観を考えることが重要になってきたのでしょうか？

経済性、機能性が最優先

- ・技術的な面にしか配慮がなされなかったこと。
- ・規制の範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・歴史的価値を否定した開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然環境の破壊や公害問題など様々な弊害があらわれ社会問題化しました。

法制度の未整備

私的財産である建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確な根拠（法令）が存在しませんでした。現在は、平成16年6月に景観法が作られています。

理論的、技術的検討の遅れ

「質」で判断されるデザインの明確な基準づくりが難しく、市民や事業者、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもと、画一的な都市化が進展する過程で、歴史的なまちなみの保存や良好な自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

景観行政の流れ

歴史的景観の保存から

歴史的背景を無視して進行する建築、開発に対する批判が、歴史的町並み保存・保全を行政施策に位置づける動きに発展し、その制度づくり（条例・要綱）へと展開していくこととなります（京都市、金沢市など）。



都市景観（デザイン）づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取り組みが都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます（横浜市・神戸市）。

先駆的な都市景観（横浜市 1965年頃～）

都市政策に「まちのデザイン（景観）を継続的にコントロールする」という概念を導入し（アーバンデザイン行政）都市空間の質的向上をめざして各種のプロジェクトを展開していきました。

- ・馬車道、伊勢崎などの商店街の再生
- ・重要地区のデザインガイドの策定
（山下公園周辺、日本大通り地区、みなとみらい21地区）
- ・歴史的建造物の保存など



（授業風景）

宮崎市の景観行政

平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、具体的な施策に取り組んできました。

都市景観形成地区の指定（4地区）

- ・橘公園通り地区
- ・高千穂通り地区
- ・一ツ葉リゾート地区
- ・日南海岸地区



景観形成の基準を設定



（一ツ葉リゾート地区）



（橘公園通り地区）

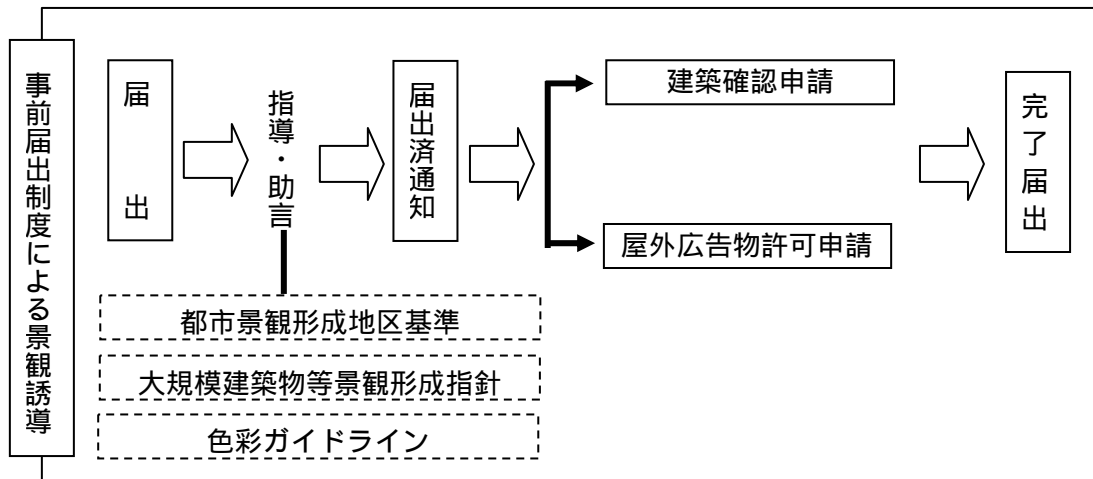


Check 具体的な景観誘導の手法

景観形成地区の景観を保全・創出するため、建築行為等の内容について届出を義務付け、事前に協議を行います。

大規模建築物等の事前届出制度（景観形成地区以外）

大規模な建築物や工作物は、景観形成に及ぼす影響が大きいため、その事業者に対し、建築行為等を行うに際して景観上どのように配慮したか、事前にその内容について届出を行うよう義務付けています。



市民意識の高揚

都市景観条例に基づく届出（協議）制度は、民間（個人又は事業者）を対象としておりますが、建築物等の形態・色彩等をコントロールしようにも、建築の自由、表現の自由に関わる問題があり、行政指導による景観誘導にも限界があります。

そこで、市民一人ひとりの景観に対する意識を高めることが重要になっていきます。



Check 景観に対する市民意識の高揚

- ・宮崎市都市景観賞（平成4年度～）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・景観教室（平成14年度～）
- ・都市景観海外（シンガポール）派遣研修（平成17年度～）
- ・花のまちづくりコンクール（平成7年度～）

景観形成の手法について

景観の形成手法（より良い景観づくりのための手法）について日本や海外の景観形成の事例写真等を使い勉強しました。

紹介事例：電線類の地中化、公共空間の緑化、広告物の色彩反転、建物の色彩や高さの統一 など...

都市景観課課長の話

美しい国づくり政策大綱について説明を行い、その後「景観に対する気づき」についての話がありました。

他己紹介

生徒同士の交流や私たちのことを生徒に知ってもらうために他己紹介を行いました。



お名前	
ニックネーム	
好きな(興味のある)国や都市	
宮崎の好きなところ	

他己紹介とは...

はてなっ

各個人で書いた名前カードを他の人に渡し、その人に紹介してもらうもの。

(名前カード)

生徒に書いてもらった名前カードは名札としても利用しました。

現状認識ゲーム

市内にある景観資源を楽しみながら知ってもらうために、班毎に景観資源のカードを渡し名称と場所を当てさせるゲームを行いました。

<準備するもの>

- ・景観資源カード
- ・宮崎市の全図
- ・カラーペン



Check



(表紙)



【授業で使用した資料: 宮崎市の景観まちづくり
市民啓発用パンフレット (H18年度作成)】

第4章 まちなみ観察・調査研究（STAGE 3）

8 時間目

- 事前学習 -

まちなみ観察を行い、写真を撮影する際の注意事項等について説明をしました。また、修学旅行先で行く京都の景観について事前学習を行いました。



（授業風景）

夏休み等の活動

- まちなみ観察・調査 -

夏休みを利用して、家族で旅行に行った場所や実際に自分達の住んでいるまちを徒歩又は自転車で観察し、まちなみの良いところや気になるところなどを自由にカメラで撮影することにしました。

また、今回は修学旅行に行くということもあり、修学旅行先（京都、大阪、奈良）のまちなみの様子も撮影し自分のまちと比較してみることにしました。

Check まちなみ観察レポート作成

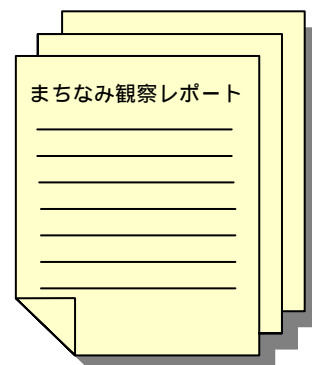
各自、できあがった写真を整理して、まちなみ観察ノートに感想等をまとめておきます。



レンズ付きフィルムを生徒に一個ずつ準備しました。



フィルムの現像等については都市景観課で行いました。



9 ~ 12 時間目

- まちなみ観察・調査まとめ -

4班に分かれて、各自で撮影した写真を使い、それぞれ模造紙に貼り付けて先生や市職員のアドバイスを受けながら各班でまちなみ観察の調査結果をまとめてもらいました。

どの生徒もいろいろな視点から多くの写真を撮ってきていました。



(あと少しで完成)



(先生に相談!?)

13 時間目

まちなみ観察の調査結果発表

今回は、修学旅行先と宮崎を比較してまちなみ観察の調査結果をまとめたので、以下のような点について発表を行いました。

ポイント

- ・宮崎のよい景観、悪い景観
- ・修学旅行先でみつけたよい景観、悪い景観
- ・修学旅行先と宮崎を比較して
- ・まちなみ観察を振り返って

発表テーマ：「\$ Kyoto & Miyazaki」

1 班



2 班

発表テーマ：「京都と宮崎の景観」



&大阪
発表テーマ：「京都と宮崎の良いところ悪いところを比較しよう！！」

3班



4班

発表テーマ：「私の街と京都・奈良・大阪」



感想



どの班も、修学旅行先で行った場所と自分たちが住んでいる場所との比較をいろいろな視点でよくまとめていました。

詳細な調査結果は、15～19ページをご覧ください。

各班のまちなみ観察調査結果

1 班

\$\$\$ Kyoto & Miyazaki

京都のよい景観



▶ 松の木が たってる。



▶ 宮崎とは色が ちがうね。



▶ キラキラ してるよ!!



▶ 木がいっぱい。



▶ 茶色くて いいね。



▶ なんて 五重塔なの?



▶ 地中か?

宮崎のよい景観



▶ みどりが いっぱい!



▶ 木がある。



▶ 道路が キレイ



▶ 木が植えられて いていいよ。



▶



▶ 二酸化炭素が減る

▶ 電線がない

京都のよくない景観



▶ 建物がたかい



▶ 目立っている



▶ 木がない



▶ 電線だらけ



▶ 看板がでかい

宮崎のよくない景観



▶ 電線がある



▶ 汚い



▶ めだっている



▶ 地中かしたいな...



▶ でんせんカー多い



▶ きれいじゃない



▶ 色が派手

編集後記

京都と宮崎の色々な景観を見る事ができて、光栄です。

京都と宮崎の景観

宮崎の景観



京都・奈良・大阪の景観



宮崎の景観

関西の景観

- 緑がたくさんある。
- ビル・建物が少ない。

感想

修学旅行を通して普段見ている宮崎の景観以外に京都、奈良、大阪の景観を見て、緑がとても少ないことが分かりました。ビルや建物があるのは、発展しているけれどこれから私たちが緑を大切にしたいと思えました。

東京の景観



- 東京の景観は、関西に比べて
- ほとんどがビル
- 緑はほとんどない
- 工場なども多い

京都^{&大阪}と宮崎^{山崎}の

良いところ 悪いところを

比較しよう!!

一 京都^{&大阪}

● 良いところ



適度に
緑がある。



緑が
きれい。



木が
ととのえて
ある。

↑ 3M11きに
あった
自動販売機。



↑ きれいに
花がうえてある。



↑ 花が
きれい
ととのえてある。



✕ 悪いところ



色があて
いない。



建物の色が
鮮やかすぎる。



建物が
ふざけりい。

↑ 看板が
大きすぎて
目立つ。



↑ マンションと
看板が
目立つ。



↑ 建物が
けように
めだつ。



宮崎

● 良いところ



木々が
きちんと
なっている。



緑が
電線を
かくしている。



道路の
わきが
木でそよざら
れている。

↑ きれいな
田園風景。



↑ 建物に
あつた
木々。



↑ 橋の上を
きれいに
してある。



✕ 悪いところ



建物の色が
目立つ。



建物の
ふいんきが
あていない。



↑ どういふ感
がない。



↑ 電光掲示板が
明るすぎる。



↑ せうに
目立つ。

一まとめ一

京都は公共施設などに適度に花がうえてあってよかつたけれど、大きな看板などが目^{UP}立っていた。
宮崎は比較的緑が多くて良かった。でも、上手く周りの建物と調和できていない建物があった。

一感想一

京都と宮崎を比較してみても、京都はやはり観光地ということもあって、比較的きれいな所があって感動した。宮崎はまたまたきれいな所とわるい所の差がけ、こうあった。ただ、「南国宮崎」をアピールするためにフェニックスなどの南国の木がうえてあって、良かったと思う。

京都の方がまだ宮崎よりもきれいな所が多かったので、宮崎も京都の良い所をマシにして、もっときれいになってほしい。

～END～

私の街と京都・奈良・大阪

京都・奈良・大阪

4班

良い写真

奈良



良い所
左右が対称に
なっている

京都



良い所
さっぱりしている

京都



良い所
歴史をかん
じる

悪い写真

大阪



悪い所
ビルが高い

京都



悪い所
電線が多い

京都



悪い所
色が目立っている

京都



悪い所
ごちゃごちゃして
いる

宮崎

良い写真

美々津



良い所
音ながらの建物
大きさがそろっている

佐土原



良い所
屋根の色が統一
されている

門川



良い所
かんせいな乗回
気がする

悪い写真

日向



悪い所
木が少ない

佐土原



悪い所
かんせいじゃない

日向



悪い所
茶色の所が、
むきたしの状
たいになっている

佐土原



悪い所
田んぼ風けいも
くわしている

第5章 まちなみ模型づくり (STAGE 4)

14～24 時間目 - 模型づくりのまえに -

まちなみのイメージを共有する

まちなみの模型は、クラスを4つの班に分け、各班1個ずつ作ることにしました。どのような「まち」を作るのか、各班で話し合っ、自分たちの好きなまちを作ってもらいました。

Check まちを構成している施設など

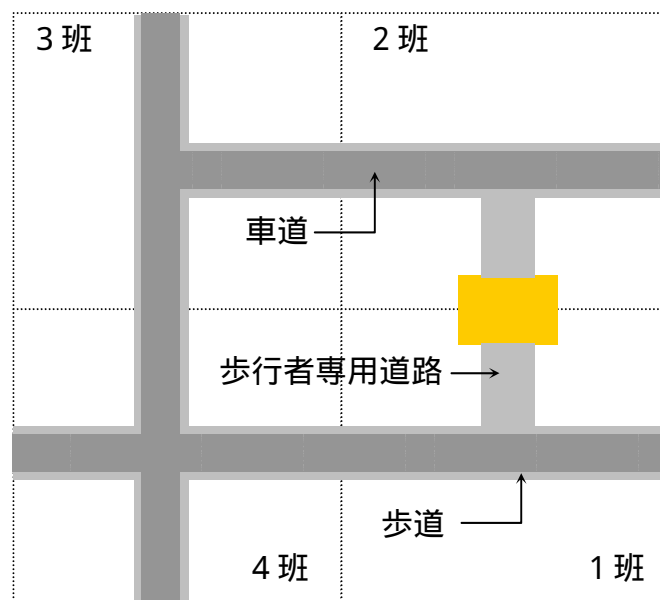
住宅、アパート、マンション、ホテル、街路樹、ビル、デパート、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店、図書館、学校、警察署、歩道橋、橋、工場、病院、公園、まちのシンボルなど



(授業風景)

土台づくり (道路や敷地の区画)

メインストリートとおおまかな土地の区画線を記入した設計図をもとに土台をつくりました。なお、今回は都市景観課で事前に準備しました。



建物などをつくる

スチレンボードを切り貼りして、建物などを組み立てていきます。

普段の生活でカッターナイフなどをあまり使わないせいか、最初のうちはぎこちない手つきでしたが、色々な模型などを作るうちに上手になりました。

- 模型製作風景 -



いいですか。

(けがをしないように注意)



難しい...!?

← (真剣なまなざしで作業に没頭中)



どんな形に
しようかな?



(細かい作業を遂行中)



すごいね!

(視察中!?)

各班の模型

1班から4班までの模型がそれぞれ完成しました。どの班も個性的なまちが立派に出来上がりました。



【1班】

テーマ：「高層ビルがある
中にも自然があるまち」
ポイント：『屋上緑化と
スカイギャラリー』

【2班】

テーマ：「明るくて緑の
多いまち」
ポイント：『明るい色の
建物と多くの緑』



【3班】

テーマ：「近代的な緑のある
まち」
ポイント：『建物の上に植えて
ある樹木』

【4班】

テーマ：「ちょっと西洋風」
ポイント：『フランスの凱旋
門のある通りを再現』



模型づくりに関する感想

- 模型を作るときに気をつけたことや苦労したことは？ -

屋上に緑をしきつめて木を植えたところを工夫した。緑の多いまち（屋上緑化）をイメージして作りました。

ビルの中のスカイギャラリーと屋根の形が苦労しました。屋根を丸くするのが大変だった。

屋上にある大きな木を作るのに苦労しました。

明るい街並みになるように明るい色を使って建物を作りました。

緑がいっぱい明るいまちをイメージして作りました。

木の置く場所を工夫しました。

都会では、建物が多くゴミゴミした感じなので木をたくさん植えたところ。

木を大きく「木」らしくするところに力を入れた。

木をきれいな形にするのを工夫しました。

福岡にある「キャナルシティ」をモチーフにした建物を工夫した。

変わった形の建物を作るのに苦労した。

コンビニなどをどんな風に景観になじませるかに苦労しました。

西洋風な街づくりをイメージしました。

駅や図書館などを作るのにとっても苦労した。特に駅は複雑でした。

模型の繋ぎ合わせ

各班で製作した模型を繋ぎ合わせて一つのまちなみにしてみました



繋ぎ合わせた模型を見て修正点等をみんなで出し合い、全体的にまちなみを整えてみることにしました。



(話し合いの様子)



みんなで話し合いを重ねて最終的に完成したまちなみ。

- 他の班の模型と繋ぎ合わせてみた時比べてみた時の感想など -

建物の位置を少し入れ替えるだけで大きな変化があることにびっくりしました。屋根の形をそろえたり、建物の高さを統一するととても良い街並みができた。

高層ビルで景観が悪くなると思っていたけど、意外とうまくいっていた。つなぎ合わせて建物の色が派手だと思った。

明るい建物があって街が明るくなった。

いろいろな建物があるなかで、緑も多く明るくて楽しい感じのある街になった。

全体的に緑がいっぱいあって良かった。

建物などに色々工夫もあったが実際に合せてみるとバランスがくずれてしまった。でも、全体的に見て、自然が多く住みやすそうな街になったと思った。

どの班も緑を多くいろいろな手法で取り入れていた。

建物の上に木を植えたりすることはいいことだと思った。

高い建物があるところがにぎやかなまちに見えました。

他の班の模型とつなぎ合わせたり建物を入れ替えたりすることで、色んな視点から模型を見ることができた。

各班のテーマも色々で、建物の高さも違ったりして、班だけで見た時とは違う感じになった。

第6章 景観教室の学習を振り返って (STAGE 5)

25 時間目 - 景観の学習を終えて -

感想

生徒のみなさんに、景観教室の学習を振り返って感想文を書いていただきました。全文を掲載することができませんが、その一部（原文を抜粋）をご紹介します。

- ☺ 景観教室に入るまでは、「景観って何?」とかいろいろ疑問とかありました。それに景観に興味もあまりありませんでした。ですが今は、少ししか分からないけど景観の楽しさ・すばらしさが分かるような気がします。景観教室に入って良かったです。
- ☺ 景観教室のおかげで、普段は気にしていなかった街並みに目を向けるようになりました。私は、今はまだそれぞれの建物が目立ちすぎていたりする悪い景観がたくさんあると思います。また、それを変えていくのは難しいけど、いい景観に変えていけたらいいです。模型作りのように簡単には景観を変えられないと分かりました。だからこそ、私たちが木を植えたりして、周りの景観を良く考えていきたいです。
- ☺ 景観教室を通して、今まで知らなかった景観のことを知ることができました。普段は何も考えずに歩いていた通学路もよく周りを見てみるといろんな発見がありました。また、景観を変えるということは難しいことなんだなと思いました。
- ☺ 景観教室は、身のまわりのことにまったく興味のない私でも興味がわく授業でした。これからは、身のまわりの事を気にしながら、歩いたり車に乗ったりすると、おもしろいことを発見したりすることができるんじゃないかなと思います。景観のことについて、もっと興味をもって知ることができたらいいなと思いました。
- ☺ あまり景観について考えてなかったけど、景観教室という授業を通して景観についてとても考えるようになりました。修学旅行でも、景観教室をやっていなかったら都会の景観の良さ、悪さに気付かなかったと思います。電線が多いと、景観が悪く見えたので、地中化したりして少しでも景観が良くなるようにしてほしいと思います。

- ☺ 普段通っている通学路などの景観を無意識のうちに「ここはキレイだな」などと考えて歩くようになりました。景観について知らなかった時と、知った今では周りの景色などが全然違って見えました。景観教室を通して、私たちにとって景観とは、街をキレイにし住み良い環境をつくることにとても重要なことなんだとあらためて実感することが出来ました。
- ☺ 京都や宮崎を比べてみるとやっぱり宮崎はまだまだと思いました。でも宮崎にもいろんな良いところがありました。そういった身近な所の良いところや改善点なども発見できたので勉強になりました。模型では、どのまちも良くできていました。でも、ここでも景観の問題がでてきて、やっぱり景観で難しいんだなと思いました。
- ☺ これからは、景観をよくしていくことが常識になっていくことが大切なんだなと思いました。宮崎もまだまだ良いといえない景観がありますが、これから少しずつ景観の大切さを広めることで良いものにしていきたいです。
- ☺ 景観教室をやってみて、最初は景観という言葉も漢字も知らなかったです。でも、たくさん景観について勉強して景観のことが分かりました。悪い景観や良い景観を見比べたり、どうすれば良い景観になるかななどをたくさん考えました。その中で一番いいなと思ったのは地中化です。お金はかかるけど、地中に電柱をうめて景観をよくする方法はいいなと思いました。
- ☺ 景観教室で、つくる楽しさと喜びと都会や田舎の景観の違いや良いところや悪いところなど、それに町並みなども勉強になりました。そして、もし機会があればまた町づくりをやってみたいと思います。今度は自分だけのオリジナルの町やみんなが住んでみたい町などを作っていきたいです。
- ☺ 景観教室は、私が思っていたよりも本格的に景観のことを知ることができました。模型づくりでは、他の班の模型もとっても面白くて参考になるところがたくさんありました。でも見た目にあまり良くない景観になったりした所もありました。まだまだ宮崎は景観についての課題がたくさん残っていると思います。私たちの意見などで、少しずつ変わってほしいと思います。
- ☺ まちづくりに関することが良く分かりました。京都と宮崎を比較して、

京都の有名な場所は地中化されていて、宮崎も地中化したらどんなかんじになるのだろうと思いました。景観教室の中で、模型づくりが一番楽しかったです。今まで、とてもいい学習をしました。

- ☺ 景観教室で学んだことは大人になっても忘れないと思います。大人になったら、図書館とか駅とかお店の設計を一度でもいいからやってみたいです。この教室に入って、あーこの景観はいいなとか、ちょっとこれは...とか思ってしまいます。大人になったら町の発展とかに役立つといいです。
- ☺ みんなと一緒にいい景観や悪い景観をわけたり、模型を作ってほかの班とくっつけたりしてとても楽しかったです。違う県や海外に行った時に景観にも気をつけて旅行するとまた違う発見があると思います。また、模型を作るときはみんなの意見を取り入れていい景観にしようと努力しました。大人になってこの経験がいかせたらいいと思います。
- ☺ 最初は、景観についてよく分かりませんでした。でも、パソコンを使った説明などを聞いていくうちにだんだん分かるようになってきました。まちなみ観察をして、修学旅行先も宮崎も良い建物、悪い建物があり、どちらが良いともいえませんでした。この景観教室で学んだことを大人になっても生かしていきたいと思います。
- ☺ 景観教室で学んだことは、街に草や木を増やしていくことなどです。まちなみ観察をして、宮崎のよい所は空気がきれいや草や木が多いなどで、悪い所は電線が地中化していないや建物が派手などでした。この学習で学んだことをこれから生かしていきたいと思います。
- ☺ 今まで、外出とかしても景観のことを気にかけてことはなかったけど、この景観教室が始まってからここの景観がいいなとかここの景観はもっとこうの方がいいなど自分の周りのことを気にかけるようになりました。これから私が大人になったとき、少しでも自分の町の景観に協力して学んだことをいかしながら、住みやすいきれいな町にできたらいいと思います。
- ☺ 景観という言葉も初めは知らなかったけど、今では少しでも景観に興味をもてるようになりました。宮崎市内とかを歩いているだけで、この看板が派手だとかこの建物は他の建物に比べると高すぎるなどが感じるようになりました。景観教室を行ってたくさんの事が学べて本当に良かったです。

これからも自分たちの住む町はもちろん色々な場所の景観が良くなれば
いいです。

- ☺ 今回景観についていろいろ学べて良かったです。それと、模型作りでどこに何を建てたら景観がよくなるかということが分かるようになりました。また、写真を使って作業をしたことによって宮崎県と県外の景観の良い所や悪い所がみつけれられました。今まで、関心のなかった町の景観や県内の景観に関心をもつようになりました。
- ☺ 景観教室を受けて、電線と景観との調和は難しい。看板をより少なくした方がいい。あまりビルは高くしない方がいい。新しい団地を作る時には、景観がいい所を参考にして建てた方がいい。無秩序に建てているビルが多い。というようなことを思いました。
- ☺ 選択社会で景観について学んで、今まで何とも思っていなかった道などを見て、もっと緑があったほうが良いんじゃないのかなと思うようになりました。宮崎は、まだ緑がある方だろうけど、もっと景観について考えるべきだと思いました。景観について初めて考えながら、いろんなことを体験できて良かったです。みんなが景観について考えることが大切だと感じました。

あしがき

平成14年度から始めたこの「景観教室」も今年で6年目となります。生徒たちに、少しでも景観に対する興味や関心を持ってもらえるように、国内外を問わず具体の事例写真やまちづくりに関する話題をたくさんとりあげて説明してきました。

どの生徒も、はじめは「景観」と言われてもその漢字や言葉の意味さえ分からない様子でしたが、景観まちづくりに関する授業や修学旅行先（京都・大阪・奈良）の景観と自分たちのまちの景観を比較したまちなみ観察調査、まちなみ模型づくりなどを通して、生徒たちの間から「この景観はあまりよくないな」とか「もう少し緑を増やした方がいい」といった声が聞かれるようになり、緑の大切さや景観に対する関心や意識の向上が図られたと思います。

また、感想文を読んでも多くの生徒が、景観教室の授業を受けてよかった、楽しく景観について学べたなどの感想を書いてくれ、改めて景観教室の大切さや一年間教えてきたことの喜びを感じました。

この学習がきっかけとなり、将来宮崎の景観づくりに関わる人材が出てくることを大いに期待しています。

最後に、実施にあたり、ご指導、ご協力をいただいた宮崎市立久峰中学校の先生方や楽しい雰囲気の中で授業に臨んでいただいた生徒のみなさんに対し厚くお礼申し上げます。

人にやさしい宮崎

思いやりの心にみちた豊かな宮崎

自然と環境を守り、スポーツと文化に親しめる宮崎

平成20年3月発行 宮崎市都市整備部都市景観課
〒880-8505 宮崎市橘通西1-1-1
TEL : 0985(21)1817 / FAX : 0985(26)3520
URL : <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/keikan/>

